

公益財団法人 日韓文化交流基金  
平成 30 年度 大学生訪韓団 団員募集要項

公益財団法人日韓文化交流基金は、毎年、日韓両国の大学生を対象として相互派遣を行っており、この度、日本の大学生による韓国訪問を3回にわたり、来年3月に実施する予定です。本訪韓中、第1団訪韓団及び第3団訪韓団は、例年通り、日韓政府事業の一環として実施します。更に、これに加え、当基金が独自に企画・実施する、現地大学生との交流に重点を置いた第2団訪韓団を実施いたします。

日本と韓国との未来に向けた友好・協力関係を築くことを目指す本事業に参加して下さる大学生の皆さんを広く募集いたします。たくさんのご応募をお待ちしています！

**事業概要**

1. 実施期間

公益財団法人 日韓文化交流基金  
韓国教育部 国立国際教育院 \*①及び③の日程の団のみ

2. 日 程

	* 事前説明会	出 発 日	帰 国 日
①	3月4日(月)	3月5日(火)	3月14日(木)
②	3月6日(水)	3月7日(木)	3月16日(土)
③	3月18日(月)	3月19日(火)	3月28日(木)

< \*事前説明会 >

内 容：趣旨・日程等の説明，連絡事項伝達，渡航に関する準備など

時 間：14：30～18：30（予定）

場 所：東京都内会議室（予定）

### 3. 実施内容

#### (1) 日程内容

##### ①・③の日程の団

日韓政府事業の一環として実施するもので、韓国政府教育部所属の国立国際教育院との共同事業です。ソウルと地方都市訪問、大学訪問、ホームステイ、韓国文化体験、各種視察等を含め、韓国側実施機関がアレンジする日程となります。

実施日程例 ※諸事情により変更が生じる場合があります。	
出発前日	事前説明会（東京都内会議室予定），東京都内前泊
1日目	日本出国（羽田空港予定）ソウル：金浦空港から入国予定
2日目	ソウル市内視察
3日目	大学訪問（ソウル市内または近郊）
4日目	ソウル市内視察，伝統文化体験＊南北軍事境界線付近（板門店，統一展望台など）の見学が含まれる場合もあります。
5日目	ホームステイ実施地域へ移動，ホームステイ
6日目	ホームステイ
7日目	地方へ移動
8日目	地方視察，大学訪問等
9日目	地方視察（釜山地域予定）
10日目	釜山：金海空港から日本に帰国（成田空港予定）

※平成29年度に実施した大学生訪韓団第1・2団の日程や内容等は、当基金ウェブサイト上で紹介されています。ご参考までにご覧ください。

（平成29年度大学生訪韓団第1団）<http://www.jkcf.or.jp/youth/20180328-1/>

（平成29年度大学生訪韓団第2団）<http://www.jkcf.or.jp/youth/20180424-1/>

##### ②の日程の団

本団は、当基金が独自に企画・実施するもので、現地大学生との交流に重点を置いた事業です。メディア等から得る韓国の姿ではなく、韓国の方々との対話を通じて韓国の姿を知り、また日本の魅力を伝えることで、日韓相互理解を深めるとともに、朝鮮時代から開国期を経て、近現代へという歴史の流れにおいて、韓国がどのように変容したのかを知ること、現代の日韓間における様々な懸案事項について摩擦が生じる理由を考え、学生一人ひとりが「自分にできること」を考察する団です。ホームステイは予定しておりません。釜山、大邱、安東、全州、ソウル等を視察する予定です。

実施日程例 ※諸事情により変更が生じる場合があります。	
出発前日	事前説明会（東京都内会議室予定），成田空港近郊前泊
1日目	日本出国（成田空港予定）釜山：金海空港から入国予定
2日目	釜山市内視察，大学生との交流（予定）
3日目	大邱市内視察，大学生との交流（予定）
4日目	安東市内視察

5日目	全州市内視察
6日目	ソウル市内視察
7日目	ソウル市内視察
8日目	南北軍事境界線付近（板門店など），大学生との交流（予定）
9日目	ソウル市内視察，大学生との交流（予定）
10日目	ソウル：金浦空港から日本に帰国（羽田空港予定）

## （2）経費負担

基本的には、訪韓前日実施の事前説明会会場（東京）から最終日に帰国する空港（成田または羽田空港予定）までの交通費・宿泊費・食費は実施機関にて負担します。

### <実施機関負担>

- ①日韓往復航空運賃（空港諸税，燃料特別付加運賃，航空保険特別料金等を含む）
- ②韓国における滞在費（交通費，食費，宿泊費，視察に係る入場料等）
- ③出発前日の宿泊費（東京都内又は出発空港近郊で宿泊予定）
- ④出発前日の事前説明会会場から宿舍及び出発当日の出発空港までの貸切りバス代
- ⑤以下の補償内容による海外旅行保険掛け金

傷害死亡・後遺障害	3,000万円	傷害治療費用	1,000万円
疾病治療費用	1,000万円	救援者費用	300万円
賠償責任	5,000万円		

### <参加者負担>

- ①自宅から事前説明会会場（東京），帰着空港から自宅までの交通費
- ②日程中，公式訪問先に贈る記念品代（3,000円程度）
- ③個人的な事情により航空便を変更する場合の変更手数料や新たに購入する場合の航空券代，その際の韓国国内の帰国空港までの交通費，延泊宿泊代等。

## 4. 個人情報の取り扱いについて

（1）この事業の実施に必要な個人情報については、公益財団法人 日韓文化交流基金の「個人情報の保護に関する方針（プライベート・ポリシー）」に則り管理します。

（2）入手した情報を以下の目的で利用し，関係先と共有することがあります。

- ①旅行手配に必要な範囲で，旅行代理店及び韓国側機関と情報を共有する（健康管理上，必要な情報もこれに含まれます）。
- ②大学訪問準備のため，韓国側機関及び訪問校と情報を共有する。
- ③アンケートの集計結果を外務省と共有する。

（3）当基金は訪韓中に，事業の記録や広報のため，活動の様子を写真撮影し，次の範囲で用いる予定です。

- ①当基金のホームページや広報物（印刷媒体）
- ②外務省の広報物

## 5. 募集人数・応募資格

（内訳）90名（予定） \*各団30名前後

- ①日本国籍を有する方，もしくは外国籍の方で日本の永住権を有し，日本の短期大学，四年制大学及び六年制大学の学部在籍していること（大学院生は対象といたしません。また，外国籍で永住権を有する方は，応募時の書類に永住権を証明し得る公的証明書のコピーを添付してください）。
- ②韓国に継続して20日以上滞在した経験がないこと。

③過去に日本政府の派遣プログラムに参加した経験がないこと。

該当プログラム例：JENESYS, カケハシ・プロジェクト, MIRAI Program,  
日露青少年交流事業, Juntos!!, 青年の船, 訪中団など

④交流に必要な英語, もしくは韓国語の語学能力を有すること。

※ 次の資格, または同等の資格を有することを証明できること。  
英検 2 級以上, TOEIC (IP 可) 500 点以上, TOEFL iBT 32 点以上,  
TOEFL ITP/PBT 470 点以上, ハングル検定 3 級以上, TOPIK3 級以上

⑤訪韓時に満 30 歳以下であること。

⑥出国前日の事前説明会及び訪韓日程 10 日間, 全 11 日間全日程に参加できること。

⑦団員決定後, 当基金が課す課題の提出が可能であること (事前・事後のレポート提出を予定)。

⑧Facebook 及び LINE に登録し, 当基金や団員とのやりとり (グループ LINE) が可能であること。

⑨健康面を含め自己管理が可能であること。

⑩訪韓中・帰国後を含め, 当基金及び外務省が定期的に行うアンケートへの協力が可能なこと。

⑪日本大学生の代表として, 韓国での交流時に積極的に日本の魅力について伝えられること。

⑫訪韓中・帰国後を含め, 今回の訪問での経験を, SNS (Facebook 等) やインターネット等を通じて情報発信することが可能であり, 且つ, これを積極的に行う意思があること。

⑬帰国後, 学校または公共の場における報告会や, ポスター・映像記録等の作成を行うなど, 経験を広く知らせる活動を積極的に行う意思があること。

## 6. 応募書類

以下の必要書類を本要項の最後に記載した送付先にご郵送ください。

### (1) 応募自由記述文 (エッセイ)

①当基金ホームページにある[応募フォーム](#)に必要事項を入力し, 送信すると整理番号が明記されたメールが自動送信されます。

※選考結果はこの整理番号での発表となりますので, 必ずお手元に控えておいて下さい。

②同ホームページから[応募自由記述文フォーム](#)をダウンロードし, 以下のテーマについて 1200 字以内でエッセイを作成。

#### <テーマ>

あなたは今住んでいる地域の国際交流アドバイザーに任命され, 韓国のある都市 (地域) と市民交流の企画を立てることになりました。あなたなら, 韓国のどこの都市 (地域) と, どのような交流を企画しますか。簡潔にまとめて下さい。

\*「今住んでいる地域」の設定は, 以前住んでいた地域や特別に思い入れのある地域でも構いません。

※フォームの右上欄に①で取得した整理番号を記載して下さい。記載のない場合には, 「不受理」となりますのでご注意ください。

※応募記述文は本人作成の未発表のものに限り, 他へ提出応募したものと二重応募は認めません。

(2) 在学証明書原本 (コピーは不可) ※厳封の必要はありません。

(3) 永住権を証明し得る公的証明書のコピー ※外国籍で永住権を有する方のみ

(4) 語学能力を証明するもの ※コピー可

## 7. 応募締切

- ◆応募フォーム送信：平成30年11月22日（木）17時
- ◆必要書類郵送：平成30年11月22日（木）※当日消印有効

- ・ファックスや電子メールでの応募は不受理となります。
- ・郵送書類受理の連絡は、当方からは一切いたしませんので、なるべく、発送を記録できる方法（特定記録郵便、書留、宅配便など）でご送付いただき、ご自身で番号追跡サービスなどを利用し、ご確認いただきますようお願いいたします。

選考の結果は、12月26日(水)までに当基金ホームページにて、団員決定者の整理番号を  
発表します。ご自身の整理番号を必ずお手元に控えておいてください。

選考過程及び選考結果の理由等に対するお問い合わせには、一切お答えできませんので、  
予めご了承ください。

### ＜お問い合わせ先・応募書類送付先＞

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-21-2 ユニゾ水道橋ビル5階  
「公益財団法人 日韓文化交流基金 大学生訪韓団 担当者」宛

TEL：03(6261)6790／FAX：03(6261)6780

e-mail: haken@jkcf.or.jp

業務時間：9:30～12:30, 13:30～17:30（土日祝日を除く）